日本での交換留学

ロンドン大学 SOAS
パーカ・ペイジ・ジル

日本に留学することは私の夢でしたので、お茶の水女子大学で奨学金をもらった時には、 とても嬉しかったです。日本での一年間は、私にとって貴重な学びと発見の連続でした。困難でストレスの多い時期もありましたが、人生で最高の時期もありました。何よりも、お茶の水女子大学での一年間を通じて、何が起こるかは分からないということを学びました。良いことも悪いことも一時的であって、不幸や幸運の結果がどうなるかは誰にもわかりません。時間だけが教えてくれるのですので、すべてが起こっている間に楽しむことが大切です。私の人生を根本的に良い方向に変えてくれた人々に出会いました。以前には持っていなかった新たな生きる希望を得ることができました。

―生活―

日本に来てから、日本語が少しずつ上達し、自信を持って挑戦し、間違いを恐れずに試すことができるようになりました。今学期は、日本語と日本文化について８つの授業を受講し、それぞれのクラスが日本語学習の異なる側面をサポートしてくれました。先生方のおかげで、授業は興味深く、楽しいものでした。音羽館に住んでいたおかげで、友達と非常に近くに住むことができ、キャンパスにいるのがとても便利でした。秋の紅葉から桜の花まで、すべての季節のお茶の水女子大学のキャンパスを楽しむことができ、幸運に感じています。自由な時間には、京都や沖縄などを旅し、美しい自然に触れながら、世界がいかに魔法のような場所であるかを再認識しました。最初はヴィーガンの食べ物を見つけるのが難しかったですが、日本全体に豊富なヴィーガンオプションがあることに気づき、これまで食べた中で最高の食べ物のいくつかを試すことができました。

—感謝—

最後に、脇田先生、毎月の振り返りシートをご確認してくださって感謝しております。私の親切なチューターが助けてくださり、ありがとうございます。音羽館と国際教育センターのスタッフはいつも親切に私をサポートしてくれてありがとうございます。櫻井先生、小林先生、俵先生、研究にご協力いただき、心より感謝申し上げます。ビンデリア先生と柏先生には、私に対して大変ご親切に、また忍耐強く接していただき、誠にありがとうございます。新しい友人たちとの出会いは、私にとって大きな喜びでした。友人の存在が、私にとっての励みとなり、毎日をより楽しく、意味のあるものにしてくれました。本当に感謝しています。